

第2号 2012・9・15

発行：茅ヶ崎市民生委員児童委員協議会
発行人：篠原 徳守/茅ヶ崎市民児協会長
編集人：木下 操/茅ヶ崎市民児協副会長
〒253-8686
茅ヶ崎市茅ヶ崎 1-1-1
茅ヶ崎市役所保健福祉課民児協事務局
☎0467-82-1111

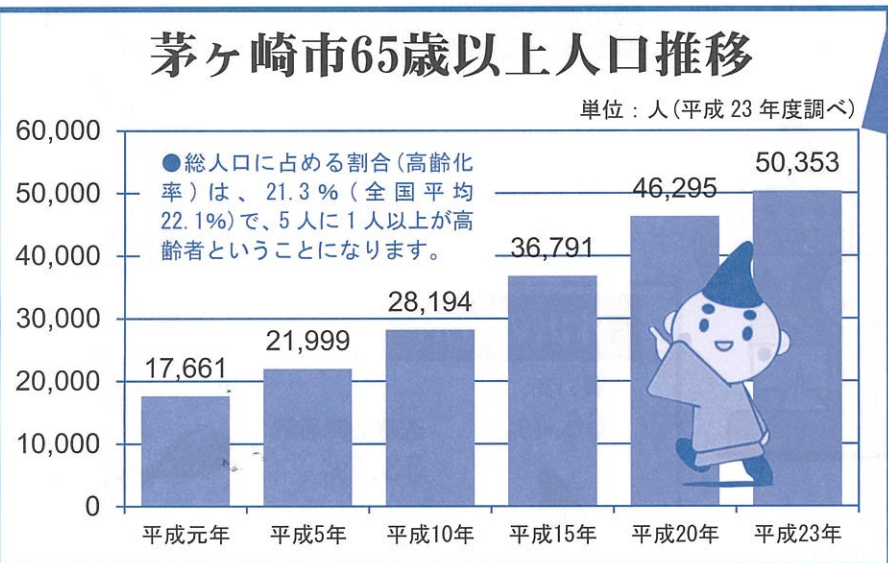
おひさま

MJ CHIGASAKI

広げよう 地域に根ざした思いやり ～災害時一人も見逃さない運動～

この秋、民生委員児童委員が調査にお伺いします。ご協力をお願いします。

在宅高齢者実態調査



ひと目でわかる!
実態調査ガイド①

調査の目的

ひとり暮らしの高齢者及び高齢者世帯等の状況を把握し、その情報を行政と共有し、地域の見守り活動の促進、災害時・緊急時の対応等に活用するために調査を実施します。

茅ヶ崎市の高齢者人口は53,000人を超え、高齢化率も22%超へと上昇を続けています。平成27年には、団塊の世代の方々が全て65歳を迎え、高齢者福祉を取り巻く社会環境は、様々な分野で大きく変わりつつあります。この変化に対応していくためにも、高齢者の実態をよ

思いやりの心で福祉のまちづくり
住みなれた地域で安心して暮らすために...

茅ヶ崎市民生委員児童委員協議会より、在宅高齢者実態調査特集号として『おひさま』第2号をお届けいたします。



茅ヶ崎市民生委員児童委員協議会より、在宅高齢者実態調査特集号として『おひさま』第2号をお届けいたします。

正確に把握する必要があります。私たちが平成8年より市から『在宅高齢者実態調査』の実施を依頼され、3年間隔で調査に取り組み、今回で6回目を迎えます。皆様のご協力により、この間の調査票の回収率も95%前後と非常に高く、精度の高い調査となっております。

この調査結果から見えてきた、高齢者を取り巻く現状・問題点について解析した貴重なデータは、高齢者の福祉課題への市の取組みや、民生委員児童委員が進める災害時一人も見逃さない運動(災害

時要援護者支援制度)、日頃の安否確認・見守り活動等に活用されます。

年々一人暮らしの高齢者や高齢者世帯が増加する中、民生委員児童委員にとってこの調査は、担当地域の高齢者の一人ひとりと顔なじみになり、さらには地域の住民との関係づくりや住民の立場に立つて様々な相談・支援活動に取り組むための大変重要な調査でもあります。

在宅高齢者実態調査の意義と主旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

茅ヶ崎市民生委員児童委員協議会会長
篠原 徳守

調査対象

平成24年9月1日現在、市在住の65歳以上の男女。

調査地域

茅ヶ崎市全域

調査期間

平成24年9月20日～11月30日



調査方法

民生委員児童委員による訪問調査

●調査対象ご本人への面接聴き取りを基本とします。

- ご本人が回答するのがむずかしい場合には、同居ご家族に回答をお願いします。
- 諸事情で面接聴き取りができない場合には、調査票をお預けし、後日回収させていただきますのでご協力をお願いします。



- ### 調査項目
- 調査では、こんなことをお尋ねします。
- ①回答者の基本属性 (氏名・住所・性別・年齢など)
 - ②世帯の状況
 - ③災害時や病気・ケガ等の緊急連絡先 (自宅以外)
 - ④現在の状況
 - ⑤災害時要援護者支援制度について
 - ⑥地域のボランティア活動について
 - ⑦近所づきあいの程度
 - ⑧外出の頻度
 - ⑨介護認定の有無
 - ⑩介護保険サービスの利用状況
 - ⑪障害者手帳の有無

在宅高齢者実態調査のご協力をお願いについて

在宅高齢者実態調査は、茅ヶ崎市内に居住する65歳以上の全ての方を対象として、各地域の民生委員児童委員の皆様のご協力により、高齢者宅を訪問し、その世帯の状況等について聴き取り調査を行うもので、市の高齢者福祉の充実を図るとともに、災害時等の緊急対応や日頃の見守り活動などに活用させていただくことを目的として実施するものです。

本調査は、災害や緊急時に備え、援護を必要とする在宅高齢者等を地域で支援するためにその実態を把握する大変重要な基礎情報ともなります。なお、個人情報につきましては、その取り扱いに留意していただくよう周知徹底しておりますので、調査の趣旨や目的をご理解のうえ、ご協力いただきますようお願いいたします。

《高齢福祉介護課》

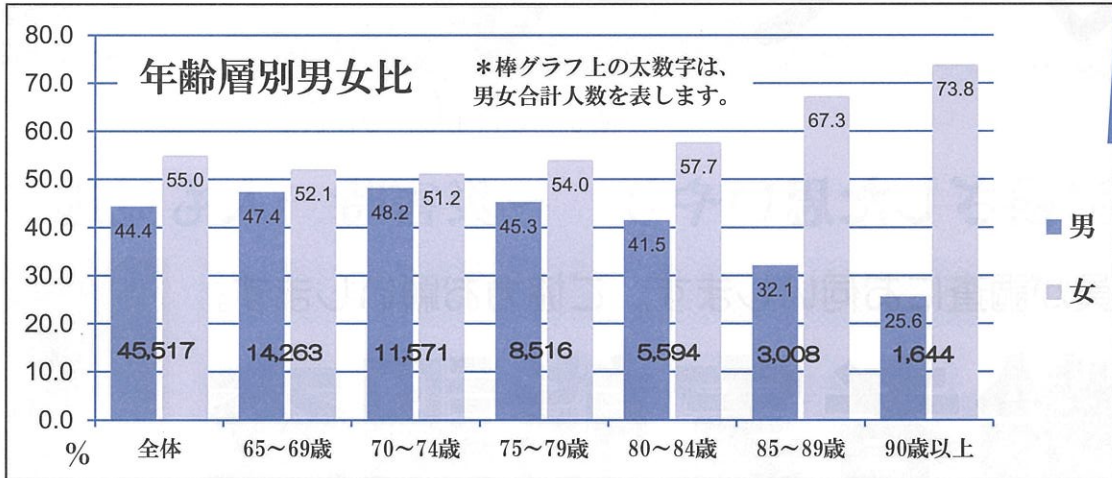


民生委員児童委員に関するお問い合わせは、
市保健福祉課民児協事務局
☎0467-82-1111

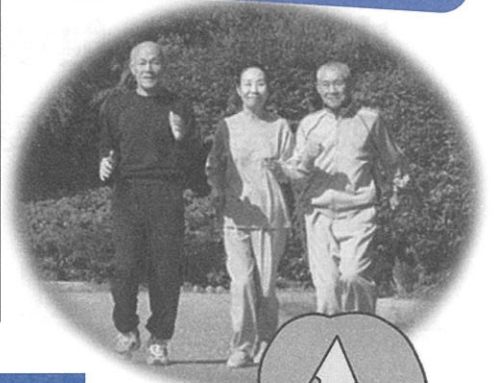
数字で見る在宅高齢者実態調査

データは、前回調査時(H21)のものです。

→年齢が上がるほど、女性の割合が高くなっていきます。90歳以上では、約74%を女性が占めています。



ひと目でわかる！
実態調査ガイド②



世帯状況

高齢者のみの世帯 **36.8%**

他同居世帯 **44.0%**

ひとり世帯 **14.5%**

日中独居 **3.4%**

現在の健康状態

持病はあるが深刻ではない **46.8%**

悪いところはない **41.0%**

外出の頻度

ほとんど毎日 **60.9%**

週に2~3日 **25.1%**

週1回程度 **5.3%**

外出しない **5.1%**

現在の生活状況

自宅で生活 **92.9%**

施設に入所 **3.0%**

入院中 **1.2%**

病気がち **6.9%**

認知症 **1.4%**

寝たきり **0.7%**

外出の目的

買い物 **66.4%**

医療機関通院 **33.1%**

趣味 **32.2%**

体力づくり **32.2%**

仕事 **18.2%**

平成23年度、茅ヶ崎市の民生委員児童委員は、こんな相談・支援要請をお受けしました

相談・支援件数(分野別)

| | | | |
|-------------------------------|---------------------|--------------------------|-------------------------|
| 高齢者関連 3,193 件 | 障がい者関連 412 件 | 介護保険 303 件 | 在宅福祉 439 件 |
| 子ども関連 1,093 件 | その他 626 件 | 子どもの教育・学校生活 230 件 | 健康・保健医療 361 件 |
| 合計 5,324 件 | | 生活環境 273 件 | 子育て・母子保健 670 件 |
| * 高齢者に関する相談件数が、全体の60%を占めています。 | | 家族関係 207 件 | 日常的な支援 1,345 件 |
| | | 住居 165 件 | 子育て・母子保健 * 546 件 |
| | | 子どもの地域生活 230 件 | |

★青数字の下の黒数字は、青数字中、主任児童委員が扱った件数を表します。

編集室から

＊月日の経つのは、本当に速いものですね。新年早々に『おひさま』第1号を回覧させていただいたと思ったら、いつの間にかもう赤トンボが飛び、3年に一度の「在宅高齢者実態調査」のスタートも迫ってまいりました。

＊というわけで『おひさま』第2号は、その特集を組ませていただきました。どうぞ皆様、ご一読の上、その趣旨をご理解いただき、「福祉のまち・茅ヶ崎」の実現に向けて、ぜひご協力賜りますようお願い申し上げます。

＊秋はまた、台風の時節でもあります。民生委員児童委員一同、「災害時一人も見逃さない運動」をより積極的に推進してまいりますので、こちらの方もよろしくお願いたします。

＊民生委員児童委員活動に関心をお持ちの方、より詳しい活動内容を知りたい方は、〈市役所保健福祉課民生協事務局 電話021-111-1111〉までお問い合わせください。

木下 操(鶴嶺東)

《編集制作》民児協ちがさき広報委員会
白井愛子(海岸)、早川正(鶴嶺西)、小澤登代子(松林)、八幡弘徳、溝部きみ子(小和田)、黄木寺風惇(鶴嶺東)、市保健福祉課・中原真紗美(事務局)

民生委員児童委員の「1年

私たち民生委員児童委員は、「広げよう 地域に根ざした思いやり」をスローガンに、皆さんの身近な支援者として、「災害時一人も見逃さない運動」の推進と災害時支援マップの点検整備を行いました。

また、3・11の大災害では、一人暮らしや高齢者世帯の安否確認にも力をいれました。

「こんにちは赤ちゃん訪問事業」では、主任児童委員が第二子以降の生後4か月未満のお子さんのいる家庭を訪問。地域の子育て情報の発信や悩み事の相談にのったり、孤立しがちな母親の話し相手としての支援も行ってきました。

保護司さんとの共催事業、「社会を明るくする運動」では、街頭PR活動を実施しました。

3・11直後に民生委員児童委員が行った「安否確認」件数 **4,634** 件

民生委員児童委員が行った「訪問・見守り活動」年間総件数 **33,376** 件

*数字は茅ヶ崎市に於ける実績数。